



1. マーケット・レート

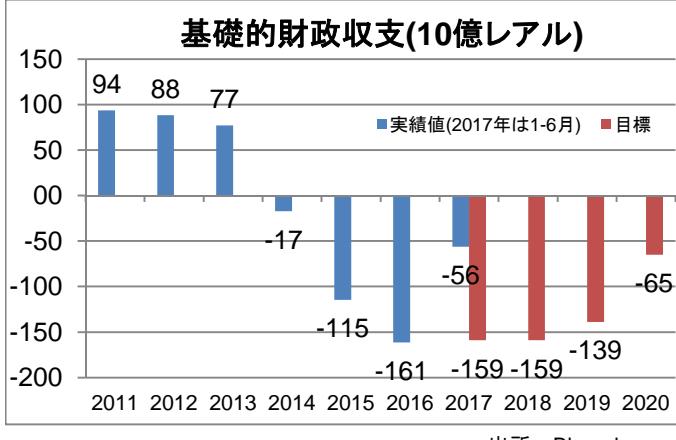
			8月14日	8月15日	8月16日	8月17日	8月18日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1900	3.1700	3.1520	3.1750	3.1470	-0.0280
	BRL/JPY	Spot	34.37	34.90	34.95	34.50	34.72	+0.22
	EUR/USD	Spot	1.1780	1.1735	1.1767	1.1720	1.1760	+0.0040
	USD/JPY	Spot	109.65	110.65	110.20	109.52	109.21	-0.31
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	8.03 7.90	8.00 7.88	7.99 7.89	7.98 7.92	7.93 7.86	-0.0454 -0.0604
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	2.160 2.443	2.139 2.457	2.153 2.483	2.147 2.445	2.195 2.492	+0.048 +0.047
株式	Bovespa指數		68,284.69	68,355.13	68,594.30	67,976.81	68,714.66	+737.85
CDS	CDS Brazil 5y		204.32	201.18	199.34	205.81	202.71	-3.10
商品	CRB指數		177.506	176.305	175.357	175.886	177.497	+1.611

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルはS&Pのクレジットウォッチ解除を受けて3.14台まで上昇。
- 週初のレアルは3.1930で寄り付いた。週初に予定されていた基礎的財政収支目標の発表が延期されたことを受けレアルは週間安値3.2050を示現。その後、事前予想通りの財政収支赤字目標が発表され、S&Pがクレジットウォッチを解除するとレアルは3.14台まで反発。米政権への懸念やスペインのテロなどの報道で小反落する場面もあったが、週末にかけて週間高値3.1420を示現し、3.1470で越週。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、2017年の経済成長率予想が0.34%に5週連続で据え置かれた。2018年予想は6週連続で2.00%に据え置かれた。インフレ率予想は2017年が3.45%から3.50%へ4週連続で上方修正されたが、2018年は4.20%に据え置かれた。為替レート予想は2017年末が3.25、2018年末が3.40でいずれも据え置き。
- 15日の引け後、政府は2017年の基礎的財政収支赤字目標を1,390億レアルから1,590億レアルに緩和すると発表。2018年以降の目標も緩和方向で修正され、基礎的財政収支の黒字転換時期は2020年から2021年に変更された。これを受けS&Pは5月下旬に設定したクレジットウォッチを解除し、ブラジルの格付けをBBに据え置いた。アウトランクはネガティブとした。
- 7月FOMC議事録が公表され、インフレ率が中長期的に緩やかなペースで目標の2%まで上昇するとの予想を過半数の参加者が維持し、大部分の参加者が9月会合でバランスシート縮小計画の発表を支持したことが明らかになった。
- 先週末発生した米バージニア州の白人至上主義者と反対派の衝突に対して、トランプ大統領がどちらにも分があると発言したことを受け、米政権への懸念が強まった。18日には大統領の側近のバノン主席戦略官が退任を発表。

3.今週のチャート＆ハイライト



出所 : Bloomberg

S&Pブラジルのクレジットウォッチを解除

15日の新財政収支目標を発表を受け、S&Pはブラジルからクレジットウォッチを外し、格付をBBに据え置いた。据え置きの理由として、テメル大統領が汚職の起訴を免れたことや、経済条件の改善、年金改革法案の審議進行、目標の下方修正が歳入の短期的な落ち込みによるもので歳出増加に起因しないことが挙げられた。見通しはネガティブに維持され、3分の1程度の確率で今後半年から9ヶ月の間に格下げする可能性があると発表された。S&Pは今後改革法案審議の動向を見つつ、判断を行うものと見られる。他の格付け機関も同様の行動に出ると予想する。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.10—3.25

当面の格下可能性が後退したことを受け、来週のレアルは底堅く推移すると予想する。しかし、北朝鮮情勢、欧州でのテロ、米大統領側近の辞任など、リスクオフムードの材料が連続して出て来ていることから、レアルの上値は限定的となろう。ブラジル国外では来週は25日にジャクソンホールで開催されるイエレンFRB議長の講演が焦点。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE CPI-週次	0.14%	0.22%	0.04%
ブラジル	IGP-M Inflation 2nd Preview	0.04%	0.03%	-0.71%
ブラジル	CNI産業信頼感	--	52.6	50.6
米	ミシガン大学消費者マインド	94.0	97.6	93.4

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	8/21	貿易収支(週次)	Aug 20	--	\$873m
ブラジル	8/21	税収	Jul	109286m	104100m
ブラジル	8/23	FGV CPI IPC-S	Aug 22	0.39%	0.40%
ブラジル	8/23	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Aug	2.73%	2.78%
ブラジル	8/23	経常収支	Jul	-\$3400m	\$1330m
ブラジル	8/23	海外直接投資	Jul	\$5000m	\$3991m
米	8/23	MBA住宅ローン申請指數	Aug 18	--	0.1%
米	8/23	新築住宅販売件数	Jul	610k	610k
ブラジル	8/24	ローン残高(前月比)	Jul	--	0.40%
ブラジル	8/24	融資残高	Jul	--	3078b
米	8/24	新規失業保険申請件数	Aug 19	236k	232k
米	8/24	中古住宅販売件数	Jul	5.56m	5.52m
ブラジル	8/25	FIPE CPI-週次	Aug 23	--	0.22%
ブラジル	8/25	FGV消費者信頼感	Aug	--	82.0
米	8/25	耐久財受注(前月比)	Jul P	-6.0%	6.4%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の領布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるかかる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。